

令和7年3月11日（火）

東日本大震災について（6時間目終了後）

生徒の皆さんへ

6時間目の授業が終わったところですが、少しだけ放送に耳を傾けてください。  
今日は朝からグラウンドに半旗が掲げてありますが皆さんは気がつきましたか？

今から14年前の3月11日午後2時46分、ちょうどこの時間に「東日本大震災」が発生しました。2年生は皆さんが生まれた年度。1年生は皆さんが生まれる少し前のことです。

巨大地震と津波、その後の福島第一原発の爆発で、想像を絶する被害が発生しました。死者・行方不明者は22,200人以上、未だに自分の家には戻れない方々もいて、原発の処理はあと30年たっても終わらないと言われていています。

まさか巨大地震が起こり、津波が発生して、自分が突然死んでしまうなんて誰も思っていない。でも、現実にはそういうことが起こり、家族や身近な人を失って、本当につらく悲しい思いをした方々がたくさんいます。

そして、このことは人ごとではなく、日本という国に住んでいる以上、いつ大きな地震が起こって、私たちに災難が襲いかかってくるかもしれません。最近では、大きな山火事で、人が亡くなり、家を失ってつらい思いをしている方々のニュースも聞こえてきます。

小見川中学校として、そして皆さん一人一人も、東日本大震災で命を落とした方々に哀悼の意を示すとともに、突然、愛する家族や身近な人を失った人たちの気持ちをあらためて考えてみてください。そして今こうして生きていることの有りがたさ、命の大切さについても考える機会としてほしいと思います。

以上、で放送を終わります。